



学校で学んだことを、校外での学習に生かして

校長 竹花 正徳

秋も深まり、冬の装いを感じるようになりました。

5年生の児童50人、10月27日より全員で自然教室の2泊3日に行ってきました。例年千葉県鋸南町を中心に自然教室を行ってきましたが、今年度は施設の改修工事のため、福島県的那須甲子青少年自然の家を宿泊先に2泊3日の自然教室を実施しました。

第1日目は、今シーズン一番の冷え込みとのことで外で予定していたキャンプファイヤーを室内で実施しました。巨大な排煙装置の下に木を組み、「友情」「夢」「平和」のファイヤーストームを囲み、歌、ゲーム、ダンスで盛り上がりしました。梅二の子供たちも初めてだとは思いますが、何度か宿泊学習にしている私も、室内でのキャンプファイヤーは初めての経験でした。食事はビュッフェ形式、ドリンクバーもありました。準備ができた各班ごとに「いただきます。」片付けも自分たちで……。各自、食べる量を調整しながら40分の限られた時間の中で食事をしました。配膳、片付けも日に日にスムーズになってきました。その後、大きな風呂で、男女別に一気に入浴、2段ベットで就寝。

2日目は、那須どうぶつ王国。ツシマヤマネコ等絶命危惧種の保護について学び、ツシマヤマネコ米を使ったカレーライスをいただきました。班ごとに動物の見学やショーを堪能しました。行動班ごと、時間を見ながら協力して活動できました。3日目は、担任の先生の流ちょうな説明の後、白河だるまの絵付け体験を堪能しました。

寒さの関係で、予定が変わったところもありましたが、変更にもよく対応していました。

青年の家では朝の集い、夕べの集いがあり、福島県等他校のいる中で、代表児童の学校紹介の仕方、内容、聞いている態度等ピカイチだったと感じました。学校で今まで培った学びが生かされていると感じた場面でした。

5年生だけではなく、1・2年生の生活科見学。2年生は昨年度の経験を生かして行動していました。1・2年の合同班活動では、2年生が1年生をリードし葛西臨海水族園を案内し、公園で仲良く昼食を食べ、遊び、どんぐり拾いをしました。1年生も2年生のお兄さんお姉さんの言うことをよく聞き楽しい1日を過ごしました。

3年生も社会科見学。小松菜農家の見学。残念ながら小松菜の収穫体験はできませんでしたが、ビニールハウスの中で小松菜の話しや種のまき方等を間近で見ることができました。用意していった質問も上手にできましたし、しおりいっぱいメモをとっていました。

ところで、デフリンピックをご存じでしょうか。オリンピックに似たネーミングです。「耳が聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピックです」4年生は11月19日に太田総合体育館で行われたバスケットボールの試合の応援に行ってきました。聞こえないので応援の仕方も特別です。事前に身振り手振りでの応援の仕方を学習していきました。それから、応援ボードを用意して応援をしてきました。聞こえないことを乗り越え、コミュニケーションをとりながらのプレーは新鮮でかっこよさがありました。デフリンピックを知る、観戦したことで、子供たちの世界が広がったと感じました。

様々なことを知ることで、世界を広げていきましょう。

※2年生の地域見学では、6つの場所を訪問させていただきました。インタビューにもわかりやすく答えていただきました。ご協力有り難うございました。